

奇跡の景色

中野
凜

五月十九日、私たちは長野県の八島温泉へハイキングに行った。そのハイキングの途中のネイチャーガイドさんのお話で、この温泉に暮らす様々な動植物のことを知った。特に「ヤドリギ」は、普段の生活では見ることができないものなのでとても強く印象に残っている。

私がハイキングで見たヤドリギは、ガイ
ドさんの話によると、一本に見える木が実

お茶の水女子大学附属高校の生徒からの投稿 ⑤

は三種類の木から成っているものだったそう
うだ。その内の一種は、別の一種の枝の先
に寄生するような形で生えていた。ヤドリ
半は幸せの象徴だと耳にしたが、どうやら
それは迷信という訳でもないらしい。

そのヤドリギは、鳥に種を食へさせ、その鳥が飛んでゐる間にした糞がたまたま枝の先に落ちてたためにそこに生えることができたものだ。その種は自力で生えることができない種であるため、木に糞が落ちないとその種が芽吹くことはできないのである。私が見た景色は、そんな奇跡跡のようは確率で生まれたものたちだったのだ。

良い意味でのおせっかい

橋本 茉奈

先日、私は三泊三日の合宿で長野県の諏訪地方に行ってきました。出会つてまだ一カ月ほどしか経っていないクラスメートと行った今回の合宿。クラスメートとの仲も深まった気がします。

しかし、今回の合宿の目的は親類を深めるだけではありません。「フィールドワーク」という目的がありました。そのため、私たちは御田町商店街という諏訪大社下社春宮の近くにある商店街に行きました。そ

疑問を持ち解決する大切さ

谷田貝美優

私は高校の合宿で八島温泉に行った。そこではネイチャーガイドの方がいろいろと案内して下さった。例えば、木道は二つに分かれていての二つになつてゐるのがあるときいた。それは、土の流出を防ぐためによく日が当たるようにするたためだそうだった。このように一人で歩いてゐると気がす通りで寝てしまつたやうなことも学ばせて

繋がりの強い温かい街

金子
桃子

今回の合宿で私たちは、御田町商店街にてインタビュを行った。初めてで、拙いインタビュであったと感じるが、御田町の皆さんにつひと丁寧な受けとめていただいたき、なんとかやり終えることができた。

そのインタビューにおいて、私が最も印象に残ったことは、諏訪の人たちは本当に諏訪を愛し、守りたいと強く願っている、

自ら体験する大切さ

近藤
祐月

五月十八日から三日間、私は学校の合宿で長野県諏訪市を訪れた。ほんの短い期間だったが、諏訪でしか感じられないことを体いっぱいに吸収することができまして、町の中心である諏訪湖は想像よりも遙かに大きく、バスから見た時は驚きであった。八島温泉では黄色があざやかなニッコウキスゲをはじめ、たくさんの草木が見られました。また鹿の足跡なども見て、自然と人は共生しているということを改めて感じ

紡がれるもの

大木綾乃

先日、学校の合宿で長野県の諏訪地方を訪れた。そこでは地元のお店街を訪れたり八島温泉に行ったり、貴重な体験ができた。それらを通して共通して感じたのは、諏訪の人たちを通じて、な事になっているということだ。訪れた商店街では老舗と新しい店があり、老舗は新しい店の起業の手伝いをし、新しい店は人を呼びこむなど、互いにサポートしあう地域間のつながりが

じやせうなりました。

曾段、東京で過している人、町は高層ビルでいっぱい、電光掲示板でいっぱい、たくさんのおせつて歩いている人でいっぱいなのが当たり前を感じられています。それに加えて最近SNSが発達しているの、情報やコミュニケーションもSNSを使うことが大半です。そんな中でこうして諏訪に来て町の方々とお話しさせてもらったり、肌で自然を感じたりして、人と人のつながりや、実際に自ら体験することの大切さを学べました。

私たちを温かく迎え入れてくださった諏訪市の皆様に感謝したいです。

見られた。また御柱祭の話を書き、古くから続く伝統を地域ぐるみで伝えるという過去からのつながりも見え、製糸場見学ではそこに加えて新たなものを取り入れる姿があった。温厚になつた際には、自然を保護し残していく活動が見られ、人と自然のつながりを壊さず共存できるようにして貰ふのだと感じた。

このように諏訪では人と人、人と自然
今と昔、未来がうまく共存できるつながり
を紡いでいると感じた。普段は意識しなかつ
た大切なものに触れる貴重な機会となつ
た。